

一、筑波大学哲学・思想学会会長及び評議員の選出

○平成二十九年四月十五日(土)に開催された第一回評議員会において、互選により新会長に井川義次氏が選出された。
 ○学会規約に基づき、井川会長の推薦により、次の四名が会長推薦の評議員に選出された(評議員選挙により、三十五号記載の十六名が既選出)。
 川井博義、志田泰盛、土井裕人、水野建雄 (五十音順、敬称略)

二、評議員会の開催

平成二十九年四月十五日(土)、第一回評議員会が筑波大学人文社会学系棟八階会議室において開催された。

○審議内容のうち、会長の選出に関しては一に記した通りである。

○編集委員に、五十嵐沙千子、小野基、鬼界彰夫、木村武史、千葉建、檜垣良成の各氏が委嘱された。

○事務局代表に、津崎良典氏、土井裕人氏が委嘱された。

○平成二十九年度の活動方針について審議

された。
 ○幹事に、北夏子、樋口達郎各氏が委嘱された。
 ○学会賞の選考委員が選出された。

平成二十九年十月二十八日(土) 第二回評議員会が前回と同じ場所で開催された。

○院生幹事に、内田安紀、岸本崇、竹中淳の各氏が委嘱された。

○平成二十九年度の筑波大学哲学・思想学会奨励賞を、河合一樹氏、「本居宣長の孔子観」と「正名」——「玉勝間」第九三条を中心として——『哲学・思想論叢』第三十五号、筑波大学哲学・思想学会、二〇一七年に対して授与することが承認された。

○『哲学・思想論叢』の投稿締切日の変更が承認された。

○Web会議の導入が検討され臨機応変に対応していくとされた。

三、第三十八回学術大会の開催

筑波大学哲学・思想学会第三十八回大会は、平成二十九年十月二十八日(土)筑波大学人文社会学系棟A101を会場として開催され、以下の研究発表、公開講演および総会が行われた。

〔研究発表〕

1 「責めある存在を引き受ける」とは
 いかなることなのか
 岸本崇

2 古代日本の「名分」——本居宣長に
 おける「名分」論の受容——
 河合一樹

3 儒教経典解釈の比較——宋明理学・
 儒家神道(儒教的)キリスト教——
 竹中淳

4 概念主義とはそんなに変な考えか
 ——マクダウェルレイブアス論
 争を手がかりに——
 小川祐輔

5 「自由—責任」論再考
 ——キルケゴールの倫理思想を手が
 かりとして——
 馬場智理

6 インド仏教論理学研究の最近の動向
 ——因明学への架橋——
 小野基

〔公開講演〕

分析アジア哲学とは何か?
 .. 後期西田哲学の再構築

Introduction to Analytic Asian
 Philosophy: Reconstructing Late
 Nishida
 京都大学教授 出口康夫

〔総会〕

○筑波大学哲学・思想学会奨励賞の授与式が行われ、河合一樹氏、「本居直長の孔子観と「正名」——『玉勝間』第九三条を中心として——」、『哲学・思想論叢』第三十五号、筑波大学哲学・思想学会、二〇一七年に対して平成二十九年年度奨励賞が授与された。

○活動報告 平成二十八年度の活動報告が承認された。

○会計報告 樋口達郎幹事より、別表の通り平成二十八年度会計報告（平成二十八年四月一日～平成二十九年三月三十一日）がなされ、承認された。

○会計監査員の選出 千葉建氏、檜垣良成氏が平成二十九年年度及び平成三十年年度の会計監査員に選出された。

四、編集委員会の開催

『哲学・思想論叢』第三十六号の第一回編集委員会が六月二十八日（水）筑波大学人文社会学系棟八階会議室において開催された。

○鬼界彰夫氏が編集委員長に委嘱された。
○第三十六号の編集方針・日程等が検討された。

第二回編集委員会が、九月十三日（水）に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文の審査について検討された。

○第三十八回学術大会研究発表者の選考が行われた。発表者の再募集が決定された。
○大会プログラムについて検討された。
第三回編集委員会が十月十八日（水）に前回と同じ場所で開催された。

○投稿論文が審査された。

○来年度の投稿締切日について検討された。

五、会員異動

○新入会員

足立和夫、河村雄輝、古賀政孝、パク・ヒョン、布施京悟、丸山徹、陸斯旺

○退会会員

志村咲紀

（五十音順敬称略）

（平成二十九年十二月八日 北夏子記）

『哲学・思想論叢』 第三十七号原稿募集

・原稿締切日

平成三十年九月二十五日（火）

※締切日にご注意ください。

※裏表紙裏論文執筆規定をご参照の上、ご寄稿ください。

筑波大学哲学・思想学会平成28年度会計報告

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）会計担当幹事 樋口達郎

（単位：円）

収 入		支 出	
前年度繰越金	1,038,741	機関誌作成費	287,042
学会費	613,000	通信費	15,202
ICR補助金	26,937	アルバイト代	37,000
		大会開催費	199,272
		評議員会開催費	66,096
		事務用品代	1,438
		次年度繰越金	1,072,628
計	1,678,678	計	1,678,678